

令和2年(2020年)9月13日(日曜日)

竹や雑木粉碎、肥料に

三島の松毛川沿い

大学生が保全活動

三島のNPO法人
グランドワーク(G
W)三島は10、11の両
日、同市と沼津市の境
を流れる松毛川沿いで
都留文科大(山梨県)
の学生を招き、環境保



伐採した竹や雑木をチップ化する学生ら
＝三島の松毛川沿い

全活動を行った。
GW三島の渡辺豊博
専務理事が特任教授を
務める同大は毎年、学
生が松毛川を訪れて作
業に取り組んでいる。

今年には集中講義「環境
保全と自然再生」を受
講する地域社会学科の
2～4年生80人が、伐
採した竹や雑木などを
粉碎してチップ化し
た。今後、発酵させて
植林の肥料に活用する
という。

松毛川沿いはかつて
放置竹林が広がり、G
W三島が竹を刈り取っ
て植樹するなど環境再
生に取り組んでいる。
GW三島によると、川
の両岸約3キロには12種
類の河畔林1300本
が残り、周辺は野鳥や
魚などさまざまな生物
が生息している。